



首都圏情報コーナー

第3代佐渡市東京事務所長の誕生

去る7月10日首都圏佐渡連合会役員会において第3代東京事務所長誕生の人事異動が行われました。佐渡市東京事務所の運営については、佐渡市から首都圏佐渡連合会が委託を受けて取り行っています。

今回、坂田正通所長が首都圏佐渡金井会の会長に就任、その後任として榎谷端夫氏（小木出身、駐在員、産業振興部会部会長）が就任しました。一層盛んな活動が期待されます。

佐渡市東京事務所は、「佐渡市が推進する観光、文化・芸能、産業振興等に関して首都圏への情報発信またはこれらの情報収集」を行ってきています。東京事務所駐在員は常駐要員3名（他に非常時対応要員1名）が日替わりで1名ずつ常駐しております。役割を果たすためには首都圏佐渡連合会の組織挙げてのバックアップが必要になります。中心となる組織が郷土連絡委員会（27名で構成）です。

観光、文化・芸能、産業振興についてそれぞれ部会を組織し、各部会の部会長が活動をまとめていますが、同時に東京事務所の駐在員を務めています。講演会などの活動拠点となる場所を東京事務所の一坪足らずを手掛かりにして確保の工夫をしています。

会社組織、役所組織いづれでもない任意団体の首都圏佐渡連合会が60歳、70歳台中心の佐渡出身者により活動するにあたり、首都圏佐渡連合会会長のもと事務局と東京事務所とが協議しながら統率を取っているところと

（文責：本間厚）

写真左から、小路徹、名畑榮雄、榎谷端夫、元田利夫、各駐在員



新潟に住む人、新潟から旅立った人、そして新潟を想う人

みんな集まろう

東京新潟県人会 100周年記念「新潟県人会大交流祭」

今年は、新潟県人会で最大の組織「東京新潟県人会」設立100周年の年です。この機会に、新潟を愛してやまない国内外の新潟県人会と新潟県民とが一堂に会し、互いの絆を深め合い、さらなる交流促進を図る「新潟県人会大交流祭」を開催します。皆さん、ぜひご参加ください！

開催日・会場

- ・前夜祭 9月24日（金）古町モール内
- ・9月25日（土）・26日（日）新潟市「朱鷺メッセ」新潟コンベンションセンター

お問い合わせ

- ・新潟県知事政策局広報広聴課
☎025-280-5013
- ・東京新潟県人会 ☎03-3832-7619

9月24日 プログラム

記念植樹祭(会場:新潟市「ハードオフ エコスタジアム新潟」ふるさとの森)	15:00~15:30
新潟県内外の有志による民謡踊り・流し競演、新潟総踊り(会場:古町モール内)	18:00~20:00

9月25日 プログラム

記念式典	11:00~12:00
大物産展	10:00~17:00
ふるさと芸能大会(第一部)	16:00~21:00
オペラ「夕鶴」	15:00~18:00
記念対談 浅島誠さん・星野知子さん	14:00~15:30
映画・DVD上映	10:00~17:00

9月26日 プログラム

大物産展	10:00~17:00
大交流会	15:00~21:00
ふるさと芸能大会(第二部)	9:00~12:00
米村でんじろうサイエンス教室	10:00~13:00
朗読コンサート	13:00~15:00
映画・DVD上映	10:00~17:00
大抽選会	15:00~16:00

随想

ゆめ飛行

No. 47

佐渡市長 高野宏一郎

おおさど丸故障

お盆前、帰省でこつた返す11日の佐渡汽船のおさど丸の故障は、佐渡の交通アクセスの脆弱さを露呈してしまいました。

12日になって修理復旧には2か月を要すると報道されました。驚いて翌13日に知事に連絡を取った後、急きよ県庁で大野副知事に面会し（副知事は直ちに上京され、代替船対応などこの要望を国につないでいただきました）、その足で新任の北陸信越運輸局長にも面会できました。両津新潟航路では、長い間フェリー2隻体制に合わせて島民の生活や観光客の入りこみパターンが決まっています、1隻体制になると島の全てが狂います。

その日の帰り、新潟港では船待ちの人々や車で大混乱、食って掛かる人々の怒号が飛び交い、佐渡観光に力を入れてきた矢先に、大きな痛みが予想されます。翌日はさらに混乱が頂点に達して、市役所にもクレームが殺到しました。

佐渡市と県振興局では、急きよ8月15日と16日にターミナル内の通路に臨時給水所を設け、水のブロックを持ち込み、関係職員総出で冷たい飲み物を配ることで少しでもお客様のつらさを和らげることにとめました。また、直ちに「佐渡航路緊急対策本部」を設置し、8月19日に第1回対策本部を開いて、今後の対応を協議しました。

今回のおおさど丸故障は、島にとって汽船の存在の重要性和船だけに頼らない交通のあり方を考えさせる事件です。

（題字 高野宏一郎）

